

ひゅ〜まん

3月8日は国際女性デー

秋田県北部男女共同参画センター

開館時間

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00

休館日

木曜日・年末年始(12/29~1/3)

防災・減災と男女共同参画

令和6年1月1日能登半島沖を震源とする地震が起きました。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。発災から3ヶ月が経ちますが、復興の目途が立たず、不安な日々を過ごしている方も多くいらっしゃいます。メディアでも様々な問題が取り上げられており、先の見えない避難所生活で起きうる様々な問題について考えることが大切です。

避難所で何が起る？

見知らぬ人たちと共同生活。余震への不安や、先の見えない避難生活、プライバシーが守られず衛生面も悪く、音やにおいなど、想像を超えるストレスを抱えます。

子どももいるし、ベットもいるし、車で過ごそう…

●災害関連死の例● ※「内閣府防災情報」より引用

- ・74歳女性が、避難中の車内で疲労による心疾患で死亡
- ・83歳女性が、慣れない避難所生活から肺炎状態となり、入院先の病院で死亡
- ・32歳男性が、地震による疲労が原因と思われる交通事故による死亡
- ・43歳女性が、エコノミー症候群の疑いで死亡
- ・88歳男性が、地震による栄養障害及び持病の悪化等により死亡
- ・83歳女性が、地震のショック及び余震への恐怖が原因で、急性心筋梗塞により死亡と推定

心身への負荷が大きい状況、誰も取り残さない仕組みづくりの大切さ

我慢を強いられる状況で、誰もが混乱している時だからこそ、女性や社会的弱者の声は見過ごされがちでした。さらに、性暴力などの被害にあっても言い出せずに苦しむ事例もあります。自主防災組織などがある自治会では、防災訓練などを行っている場合がありますが、その際に男女共同参画の視点から、誰ひとり取り残さない、災害から助かった命を生かす仕組みが重要です。

内閣府では **＜災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～＞** を作成しています。

防災 男女共同参画

検索

資格「防災士」って知っていますか？

防災士とは”自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。(認定NPO法人日本防災士機構 ホームページより)

秋田県では2024年2月現在で1,678名おりますが、全国でも2番目に少ないのが現状です。特に男女共同参画の視点を持ち活動できる防災士はこれからますます重要な役割を果たします。

人口の半分以上を占める女性たちが十分に能力を発揮する社会づくりが進んでいくように、共に考え、共に取り組んでいきましょう。

しゃべる！つながる！若者MT

みんなの想いをカタチに！

2024.2.23(Fri) 13:30~15:30

to be continued...

全国的に人口減少が叫ばれるなか、地方から都市部への人口流出に歯止めがかからない状況は、秋田県においても重要な課題となっています。特に若年女性の県外流出が多いことで、出生数の減少も深刻です。性別・出身・働き方・様々な背景を持つ20代~30代、24名が北部男女共同参画センターに集まり、地域の現状や、自らの取り組んでいることなどを自由に話してもらった時間になりました。

はじめに、秋田県北部男女共同参画センター松坂憲男センター長より、県北地域の出生数や、秋田県の転出超過状況、地方から転出する理由、東京を選ぶ理由などのデータを共有。中高生・大学生に何を伝えていきたいかを参加者に投げかけました。

2022年県北地域の出生数
単位：人

| | |
|-------|-----|
| 大館市 | 307 |
| 鹿角市 | 95 |
| 北秋田市 | 73 |
| 能代市 | 174 |
| 小坂町 | 11 |
| 藤里町 | 6 |
| 八峰町 | 12 |
| 三種町 | 39 |
| 上小阿仁村 | 3 |

データ出所：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)

参加者の声を紹介！

- 都会から移住してきた人からすると、子育てに関して、世代の違う人たちとの交流も多く、子供の面倒見てくれるなど、地域の繋がり・温かさを感じている。田舎はコミュニティが狭いので一つの会社のような感覚。何もわからなくて戸惑っている時も親切に声をかけてもらったから、何か返したいという想いがある。コミュニケーションを上手にとることが鍵になるかも。
- 今の高校生たちも素敵なアイデアをたくさんもっている。せつかくの想いを声にしたら？という、言っても仕方がない。どうせ実現しない。と諦めている子が多い印象。年齢に関係なく対等に話せる関係性が必要。
- 教師という立場でみていると、自由に意見を話せない子供たちが増えている。子ども達にも様々な大人と触れ合ってもらえる機会を作れたらいいと思う。失敗を恐れずに成長してほしい。
- 生き方・働き方に選択肢が増えているのに、夫が外で働き、妻がサポートするのがスタンダードの地域。男女で期待される役割があり、そこから外れると生きづらさを感じる。
- 都会に比べて女性が一人で生きていくには収入が少なすぎる。女性ならこれくらいでいいよねと、生き方・働き方を誰かに決められてしまっている感覚になる。
- 障がいを抱えながら働居中で、やりがいを感じる仕事をしたいと願うが、なかなかマッチングが難しい。
- 人口減少の何が問題かをしっかり検証する必要がある。出生数はとても大事で、もし、今日たくさんの子供が産まれても働くようになるのは20年以上先。その20年間地域を維持していくためにみんな一緒に考えていくことが大切。
- 世代間のギャップが課題。自分たちが上の世代に感じていることは、いつか下の世代から自分たちに向けられる。時代の変化で、これまでの当たり前が通じなくなったからとバツサリ切り捨てられると理不尽に思うはず。地域を良くしたいという想いをミックスして令和の形を作っていきたいと思う。
- 今回、みんなが自由に話をしていて、良い出会いの場になった。同年代の悩みなども聞いて刺激になった。上の世代がごっそり居なくなる未来が待っている。それまでにたくさんの人から学んで備えをしていってほしい。

紹介しきれない程に、子育て、地域性、ジェネレーションギャップ、同年代の少なさ、周囲からかけられる言葉、様々な意見が出ました。

共通するのは、この地域をより良くしていきたいという熱い想いでした。

自分たち出来ることからひとつずつ。

県北地域の男女共同参画推進

2月27日、地域連携ネットワーク会議を開催しました。参加者は、県、地域振興局、市町村担当者、あきたF・F推進員等で、今年度の活動報告および、次年度への抱負などを共有しました。

市町村の取り組みも、男女共同参画、女性活躍、多様性など、特色があって、参考になるものばかりでした。センターからも終了した全ての事業について報告をし、様々な視点から事業を行ってきたことを紹介しました。

後半は「令和5年度 地域の女性リーダー応援事業」事業報告会を行いました。事業報告では、講師として自治会の女性活躍を推進する大館市御坂町内会長 越前貞久氏によるミニ講演を実施。女性の参画で自治会活動がどのように変化したか、ご紹介していただきました。



「他者の靴を履く」を読んで

秋田県北部男女共同参画センター 松田 順子

人気書籍「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」の著者ブレイディみかこさんの本「他者の靴を履く～アナーキック・エンパシーのすすめ～」を読んだ感想を寄稿いたします。

一言でいうと「他者の靴を履く」とは、自分以外の人、自分の外側（社会）で何が起きているかを知ろうとする行為（エンパシー）のことでした。当書では、教育や人間関係、政治や社会問題などの多様な観点から詳しく説明されていました。

自分の中でエンパシーの概念を落とし込むために印象に残ったエピソードを紹介します。イギリスの学校での授業で「ロミオとジュリエット」の主人公になりきってラブレターを書くという課題があるそうです。初週はクラスの全員がロミオになりきり、次週は全員ジュリエットになりきるというものです。エンパシーは、自分とは違うもの、自分には受け入れられない性質のものでも、他者は他者として存在を認め、その人のことを想像するスキルであり、そのエンパシースキルを身につけるため、小さいうちから授業を通じて大切なことを学んでいて素晴らしい取り組みだと感じました。

エンパシーを学ぶメリットを考えてみると、寛容な心を育て、多様性を共に認め合うことが出来る社会につながり、すれ違いや、争い、いざこざが減ると感じます。他者が何を考えているのかを想像し理解することこそがエンパシー（他者の靴を履く）だと学びました。

日々の生活の中で気を付けたいこととして、エンパシーを取り入れる前に、まずは、自分自身を見失わない、自分を大切にすることです。それが第一歩だと教えてもらいました。この本は、情報量がとても多く、理解するのに時間がかかりましたが、改めて学びを深める良い機会になりました。是非、皆さんのおすすめ本も教えてもらえたら嬉しいです。

こちらの本は北部男女共同参画センターでも貸し出しをしているので、興味を持った方は是非手に取ってみてください。

To put yourself in someone's shoes.

お知らせコーナー



秋田県北部男女共同参画センターの開館時間及び休館日の変更について

秋田県男女共同参画センター条例施行規則が一部改正され、令和6年4月1日より利用時間及び休館日が変更になります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

平日の開館時間

9:00～18:00

土日の開館時間

9:00～17:00

休館日

木曜日、祝日*

年末年始(12月29日～1月3日)

*日曜日が祝日の場合、振替休日となる月曜日が休館日になります

4月は「若年層の性暴力予防月間」です

犯罪・性暴力は、重大な人権侵害であり、決して許されません。

4月は入学・就職等に伴い、若年層の生活環境が大きく変わり、被害に遭うリスクが高まる時期です。相手の同意のない性的な行為は性暴力であり、許されるものではありません。

もし、自分が同意していない性的な行為をされたら、それは性暴力です。10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まず、ひとりで抱え込まず、まずは相談してください。

#なくそう性暴力

#悪いのは加害者

#一人で抱えこまないで

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター
全国共通番号 #8891

まずは、話してみませんか?



編集後記

ついに3月になりました。いつもこの時期は、年度の最後はどんな事を載せようかなと1年を振り返ります。皆さんにとってどんな1年だったでしょうか?来年度からセンターの開館時間が変わる関係で、永くこのセンターを愛して利用していた団体の中で、別の施設に移る団体もあります。開館当初からの20年間、たくさんの方がバトンを繋ぎながら進んできました。センターに関わる皆さんの優しい気持ちと力強い行動力が本当に大好きで、その背中が僕にとって人生の宝物になっています。

今年は男女共同参画社会基本法制定25周年となります。これまで繋いできた想いを引き継ぎながら、これからも学びの場、活動の場、交流の場として管理運営に努めていきます。今後もよろしくお願いいたします!(松坂)

✿ハーモニープラザ相談室✿

☎相談専門ダイヤル 018-836-7846

月～土曜日(※土曜日は電話相談のみ)

午前10時～午後5時まで

相談室は秋田県中央男女共同参画センターにあります

●団体活動カレンダー発行中●
ホームページで確認することができます

発行：秋田県北部男女共同参画センター
(通称：北部ハーモニープラザ)

北部男女共同参画センター 検索

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1
☎0186-49-8552 FAX: 0186-49-8589
E-mail: angec1@io.ocn.ne.jp